

○講演テーマ

「若年層の投票率向上に向けて」

2016年に選挙権年齢が「18歳以上」に引き下げられて以降、各種選挙が執行されましたが、いずれも若年層の投票率は低調な状況にあり、「主権者教育」の更なる充実が求められております。

このような状況を踏まえ、今回の協議会では新たな取組として、中長期的な視点から主権者教育への意識向上を図るとともに、今後の若年層に向けた選挙啓発事業の参考とするため、知見のある講師をお招きし、御講演いただきます。

○講師紹介

中京大学

総合政策学部教授

くわばら ひであき
桑原 英明氏（64歳）



主な略歴

1958年、兵庫県生まれ。慶應義塾大学大学院法学研究科政治学専攻博士課程単位取得退学。(財)行政管理研究センター研究員、常磐大学人間科学部教授を経て、2005年より現職
(2014年より県選管との大学連携事業を実施)

専門分野

行政学、行政管理論
近年は自治体の選挙管理・公文書管理・行政評価の研究に取り組む。

所属学会

日本選挙学会、日本地域政策学会理事・副会長など

主な著作

『公共政策の歴史と理論』（共編著）、「自治体選挙管理機関とその執行活動に関する一考察 ―投票立会人制度とその運用に焦点を当てて―」、「自治体選挙管理行政の一考察 ―選挙管理委員会制度を中心として―」、「地方自治体による投票区・投票所再編の論理と手法」（近刊）など